様式１０

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

2022 年　4 月 18 日

都道府県知事　殿

病院名　地方独立行政法人　市立東大阪医療センター
開設者　理事長　谷口　和博

医師法第１６条の２第１項に規定する臨床研修に関する省令（平成１４年厚生労働省令第１５８号）第１２条に基づき、年次報告書を提出いたします。

また、併せて、同省令第９条に基づき、（１．）研修プログラムの変更、２．研修プログラムの新設を届け出ます。（研修プログラムを変更する場合には「１．研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「２．研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

（１．）基幹型臨床研修病院　２．協力型臨床研修病院　（報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

・項目番号１から２７までについては、年次報告において記入してください。
・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号２８から３９までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－１－

病院施設番号：　031128　　臨床研修病院の名称：　市立東大阪医療センター

記入日：西暦 2022 年　4 月　15 日

病院施設番号 （基幹型、協力型記入） 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。	031128	臨床研修病院群の名称 （基幹型、協力型記入） 既に臨床研修病院群番号を有している臨床研修病院群については、番号も記入してください。	名称　市立東大阪医療センター病院群 番号　0311284

作成責任者の氏名及び連絡先 （基幹型、協力型記入） 本報告書の問合せに対して回答できる作成責任者について記入してください。	ﾌﾘｶﾞﾅ　ｿｶﾞ　　ｱｽｶ 氏名（姓） 曽賀	（名） 明日海	役職　総務課 （内線　5111　） （直通電話（06）6781―　5101　） e-mail：byoinsomu@higashiosaka-mc.jp （携帯電話のメールアドレスは不可とします。）

１．病院の名称 （基幹型、協力型記入）	ﾌﾘｶﾞﾅ　ﾁﾎｳﾄﾞｸﾘﾂｷﾞｮｳｾｲﾎｳｼﾞﾝｼﾘﾂﾋｶﾞｼｵｵｻｶｲﾘｮｳｾﾝﾀｰ 地方独立行政法人　市立東大阪医療センター
２．病院の所在地及び二次医療圏の名称 （基幹型・協力型記入）	〒　578-8588　　（大阪府） 東大阪市西岩田三丁目４番５号 電話：(06) 6781―5101　　ＦＡＸ：(06) 6781―2194 二次医療圏 の名称：中河内医療圏
３．病院の開設者の氏名（法人の名称） （基幹型・協力型記入）	ﾌﾘｶﾞﾅ　ﾘｼﾞﾁｮｳﾀｰﾆｸﾞﾁｶｽﾞﾋﾛ 理事長　谷口和博
４．病院の開設者の住所（法人の主たる事務所の所在地） （基幹型・協力型記入）	〒　578-8588　　（　大阪府　） 東大阪市西岩田三丁目４番５号 電話：(06) 6781　―　5101　　ＦＡＸ：(06) 6781　―　2194
５．病院の管理者の氏名 （基幹型・協力型記入）	ﾌﾘｶﾞﾅ　ﾂｼﾞｲ　ﾏｻﾋｺ 姓　辻井　　名　正彦
６.研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数 （基幹型記入）	＊　別紙１に記入 研修管理委員会のすべての構成員（協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。）について記入してください。
７．病院群の構成等 （基幹型記入）	＊　別表に記入 病院群を構成するすべての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。
８.病院のホームページアドレス （基幹型・協力型記入）	http:// http://www.higashiosaka-mc.jp/

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－２－

病院施設番号：　０３１１２８　　臨床研修病院の名称：　市立東大阪医療センター

		※	
９．医師（研修医を含む。）の員数 （基幹型・協力型記入）			常勤：126 名、非常勤（常勤換算）：　49 名 計（常勤換算）：175 名、医療法による医師の標準員数：45　名 ＊　研修医の氏名等について様式３に記入
１０．救急医療の提供の実績 （基幹型・協力型記入）	救急病院認定の告示		告示年月日：西暦 2021 年 12 月 16 日、告示番号：第 2223 号
	医療計画上の位置付け		１．初期救急医療機関　（２．）第二次救急医療機関　３．第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無		（１．）有　（321.00）ｍ^2　０．無
	救急医療の実績		前年度の件数：11368 件（うち診療時間外：5278 件） １日平均件数：31 件（うち診療時間外：14 件） 救急車取扱件数：4315 件（うち診療時間外：3149 件）
	診療時間外の勤務体制		医師：　5 名、看護師及び准看護師：　4 名
	指導を行う者の氏名等		＊　別紙４に記入
	救急医療を提供している診療科		内科系（１．有　０．無）　外科系（１．有　０．無）　小児科（１．有　０．無） その他（　　）
１１．医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） （基幹型・協力型記入）			1.一般：520 床、2.精神：　　床、3.感染症：　　床 4.結核：　　床、5.療養：　　床
１２．診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 （基幹型・協力型記入）			＊　別紙２に記入
１３．病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） （基幹型・協力型記入）			1.一般：11.3 日、2.精神：　．　日、3.感染症：　．　日 4.結核：　．　日、5.療養：　．　日
１４．前年度の分娩件数 （基幹型・協力型記入）			正常分娩件数：　625　件、異常分娩件数：　295　件
１５．臨床病理検討会（ＣＰＣ）の実施状況 （基幹型・協力型記入）	開催回数		前年度実績：　3 回、今年度見込：　5 回　※報告・届出病院の主催の
	指導を行う病理医の氏名等		＊　別紙４に記入　下に開催した回数を記載
	剖検数		前年度実績：　4 件、今年度見込：　5 件
	剖検を行う場所		当該医療機関の剖検室（１．）有 ０．無　（　　）大学、（　　）病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
１６．研修医のための宿舎及び研修医室の有無 （基幹型・協力型記入）	研修医の宿舎		（１．）有（単身用：　27 戸、世帯用：　戸） ０．無（住宅手当：　円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「０」と記入してください。
	研修医室		（１．）有（　1 室）　０．無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
１７．図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 （基幹型・協力型記入）	図書室の広さ		（72.0）ｍ^2
	医学図書数		国内図書：　3761 冊、国外図書：　233 冊
	医学雑誌数		国内雑誌：　257 種類、国外雑誌：　59 種類
	図書室の利用可能時間		0：00　～　24：00　24 時間表記
	文献データベース等の利用環境		Medline 等の文献データベース（１．）有　０．無）、教育用コンテンツ（１．）有　０．無）、 その他（　　）
			利用可能時間（　0：00　～　24：00　）24 時間表記
	医学教育用機材の整備状況		医学教育用シミュレーター（１．）有　０．無）、 その他（　　）

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－３－

病院施設番号：　０３１１２８　　臨床研修病院の名称：　市立東大阪医療センター

１８．病歴管理体制 （基幹型・協力型記入）	病歴管理の責任者の氏名及び役職		ﾌﾘｶﾞﾅ　ｳﾁﾔﾏ　　ﾀｶｵ 氏名（姓）内山　　氏名（姓）敬生 役職　経営企画課長
	診療に関する諸記録の管理方法		（１．）中央管理　２．各科管理 その他（具体的に：　　）
	診療録の保存期間		（　５　）年間保存
	診療録の保存方法		１．文書　（２．）電子媒体 その他（具体的に：　　）
１９．医療安全管理体制 （基幹型・協力型記入）	安全管理者の配置状況		（１．）有（　　１名）　０．無 有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。
	安全管理部門の設置状況		職員：専任（　１　）名、兼任（　５　）名 主な活動内容：(1) 医療の質及び安全に係る企画及び実施に関すること。 (2) 医療の質及び安全に係る連絡調整に関すること。(3) 医療の質及び安全に係る研修に関すること。 (4) 医療事故及び院内感染対策に関すること。(5) 医療行為に係る訴訟その他紛争に関すること。 (6) その他医療の室及び安全に関すること。
	患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況		患者相談窓口の責任者の氏名等： ﾌﾘｶﾞﾅ　ﾀﾅｶ　　ﾊﾙﾐ 氏名（姓）田中　　（名）春美 役職　患者総合支援センター長 対応時間（　9：00～17：00　）24 時間表記 患者相談窓口に係る規約の有無：（１．）有　０．無
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況		（１．）有　０．無 指針の主な内容：医療安全管理体制、医療安全の基本的な考え方、医療事故及び重大事故発生時の対応、患者からの相談への対応に関する基本方針など
	医療に係る安全管理委員会の開催状況		年（　12　）回 活動の主な内容：(1) 医療安全管理対策の検討、研究、及び立案に関すること。(2) 医療事故の分析及びその対策に関すること。(3) 医療安全管理のための指示、指導、啓発、研修、教育及び周知に関すること。(4) 医療安全管理に係る関係機関等との連絡調整に関すること。(5) その他医療安全管理に関すること。
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		年（　2　）回以上 研修の主な内容：TeamSTEPPS に基づくノンテクニカルスキル（復唱、指差し呼称、ダブルチェックなど）、怒りが表出する相手への対応など
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策		医療機関内における事故報告等の整備：（１．）有　０．無 その他の改善のための方策の主な内容： ・医療事故：対策会議、判定会議を開催 ・インシデント：レポートシステムを導入 ・院内死亡：全例報告　・全身麻酔手術：退室時タイムアウトを実施 →これらを安全管理部門が一元管理し、職員へ随時フィードバック
２０．前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 （基幹型・協力型記入）			修了：　5 名 中断：　名
２１．現に受け入れている研修医の数 （基幹型・協力型記入）			前々年度 / 前年度 / 当該年度 １　年：5 / 6 / 7 ２　年：6 / 5 / 6
２２．受入可能定員 （基幹型・協力型記入）	許可病床数（歯科の病床数を除く。）から算出		許可病床数（　520　）床÷１０＝（　52　）名
	患者数から算出		年間入院患者数（13946　）人÷１００＝（　139　）名
２３．当該病院からの医師派遣実績 ※募集定員を変更する場合は、別紙５も提出すること。			○　派遣実績　名　→　募集定員加算　名 ※　募集定員加算の人数は、報告・届出年度の翌年度の募集定員を算出する際に用いる医師派遣等の加算人数を記入すること。（記入要領 25 を参照） ○地域医療対策協議会等の意向の把握（　有　・　（無）　） ※　該当する方を○で囲むこと。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－４－

病院施設番号：　０３１１２８　　臨床研修病院の名称：　市立東大阪医療センター

項目 27 までについては，報告時に必ず記入してください。		※	
２４．精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 （基幹型・協力型記入） 精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。			1. 精神保健福祉士：　１名（常勤：　１名、非常勤：　名） 2. 作業療法士：　5 名（常勤：　１名、非常勤：　名） 3. 臨床心理技術者：　１名（常勤：　１名、非常勤：　名） 9. その他の精神科技術職員： ＿＿＿名（常勤：　名、非常勤：　名）
２５．第三者評価の受審状況 （基幹型記入）			（１．）有　（評価実施機関名：卒後臨床研修評価機構　（2020 年 10 月 5 日）） ０．無 有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。
２６．前年度に育児休業を取得した研修医の数 （基幹型・協力型記入）			女性　１年次研修医（　０　）名　２年次研修医（　０　）名 男性　１年次研修医（　０　）名　２年次研修医（　０　）名
２７．研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 （基幹型・協力型記入）	院内保育所		院内保育所の有無　（１．）有　０．無） 有を選択した場合、開所時間を記入してください　（　7 時　30 分　～　18 時　30 分） 病児保育　（１）有　０．無） 夜間保育　（１．）有　０．無） 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か　（１．）可　０．不可）
	保育補助		ベビーシッター・一時保育等利用時の補助　（１．）有　０．無） その他の補助（具体的に：　）
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所		休憩場所　（１．）有　０．無） 授乳スペース　（１．）有　０．無）
	その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）		（提携医：市立東大阪医療センター（小児科・整形外科・救急）　）
	研修医のライフイベントの相談窓口		（１．）有　０．無 窓口の名称がある場合記入（　） 窓口の専任担当　１．有（　名）　（０．）無
	各種ハラスメントの相談窓口		窓口の名称を記入（コンプライアンス推進担当監） 窓口の専任担当（１．）有（　3 名）　０．無
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。			
２８．研修プログラムの名称 （基幹型・協力型記入） プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。			研修プログラムの名称：市立東大阪医療センター臨床研修プログラム プログラム番号：031128402
２９．研修医の募集定員 （基幹型記入）			１年次：　7 名、２年次：　6 名

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－５－

病院施設番号：　０３１１２８　　臨床研修病院の名称：　市立東大阪医療センター

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

３０.研修医の募集及び採用の方法 （基幹型記入）	研修プログラムに関する問い合わせ先		ﾌﾘｶﾞﾅ　ﾅｶ　ﾀｶｼ 氏名（姓）　中　（名）隆 所属　医務局　役職　医監・副院長 電話：(06) 6781 ― 5101　ＦＡＸ：(06) 6781 ― 2194 e-mail：　byoinsomu@higashiosaka-mc.jp URL：https://www.higashiosaka-mc.jp/
	資料請求先		住所 〒　578-8588　（　大阪府　） 東大阪市西岩田三丁目４番５号 担当部門　担当者氏名　ﾌﾘｶﾞﾅ　ｿｶﾞ　ｱｽｶ 姓　曽賀　名　明日海 電話：(06) 6781 ― 5101　ＦＡＸ：(06) 6781 ― 2194 e-mail：　byoinsomu@higashiosaka-mc.jp URL：https://www.higashiosaka-mc.jp/
	募集方法		(1.)公募 ２．その他（具体的に：　）
	応募必要書類 （複数選択可）		(1.)履歴書、(2.)卒業(見込み)証明書、(3.)成績証明書、 ４．健康診断書、５．その他(具体的に：　）
	選考方法 （複数選択可）		(1.)面接 ２．筆記試験 (その他)（具体的に：　適性試験　）
	募集及び選考の時期		募集時期：　6　月　1　日頃から 選考時期：　7　月　27　日頃から
	マッチング利用の有無		(1.)有　０．無
３１．研修プログラムの名称及び概要 （基幹型記入）			概要：＊　別紙３に記入 （作成年月日：西暦 2022 年　4 月　1 日）
３２．プログラム責任者の氏名等（副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等） （基幹型記入） ＊　プログラム責任者の履歴を様式２に記入 ＊　副プログラム責任者が配置されている場合にあっては、副プログラム責任者の履歴を様式２に記入			（プログラム責任者） ﾌﾘｶﾞﾅ　ﾅｶ　ﾀｶｼ 氏名（姓）中　氏名（名）隆 所属　医務局　役職　医監・副院長 （副プログラム責任者） １．有（　名）(０.)無
３３．臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 （基幹型記入） すべての臨床研修指導医等（協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。）について氏名等を記入してください。			＊　別紙４に記入
３４．インターネットを用いた評価システム			(1.)有（　・(EPOC)　・その他（　）　）　０．無
３５．研修開始時期 （基幹型、地域密着型記入）			西暦　2023 年　4 月　1 日
３６．研修医の処遇 （基幹型・協力型記入）	処遇の適用 （基幹型臨床研修病院は、２に○をつけて、以下の各項目について記入してください。）		１．基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 １を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。 (2.)病院独自の処遇とする。
	常勤・非常勤の別		１．常勤　(2.)非常勤

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－６－

病院施設番号：　０３１１２８　　臨床研修病院の名称：　市立東大阪医療センター

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

３７．研修医の処遇（続き） （基幹型・協力型記入）	研修手当		一年次の支給額（税込み） 基本手当／月（270220　円） 賞与／年（685054 円）	二年次の支給額（税込み） 基本手当／月（310340 円） 賞与／年（1118430 円）
			時間外手当：（１．）有　０．無 休日手当　：　１．有　（０．）無	
	勤務時間		基本的な勤務時間（　8　：　30　～　17　：　00　）24 時間表記 休憩時間（　45 分　）	
			時間外勤務の有無：（１．）有　０．無	
	休暇		有給休暇（１年次：10　日、２年次：　11 日） 夏季休暇（１．有（０．）無） 年末年始（１．）有　０．無） その他休暇（具体的に：WLB 促進休暇 7 日/年、特別休暇、病気休暇）	
	当直		回数（約　4　回／月）	
	研修医の宿舎（再掲）		（１．）有（単身用：　27　戸、世帯用：　戸） ０．無（住宅手当：　円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「０」と記入してください。	
	研修医室（再掲）		（１．）有（　1 室）　０．無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。	
	社会保険・労働保険		公的医療保険（　健康保険　）	
			公的年金保険（　厚生年金保険　）	
			労働者災害補償保険法の適用（１．）有　０．無）、 国家・地方公務員災害補償法の適用（１．有（０．）無）	
			雇用保険（１．）有　０．無）	
	健康管理		健康診断（年　2　回） その他（具体的に　ストレスチェック、VDT 検診、深夜業検診、感染症検診等）	
	医師賠償責任保険の扱い		病院において加入（１．）する　０．しない） 個人加入（１．強制（０．）任意）	
	外部の研修活動		学会、研究会等への参加（１．）可　０．否	
			学会、研究会等への参加費用支給の有無：（１．）有　０．無	
	院内保育所（再掲）		院内保育所の有無　（１．）有　０．無） 有を選択した場合、開所時間を記入してください　（　7 時　30 分　～　18 時　30 分）	
			病児保育　（１．）有　０．無） 夜間保育　（１．）有　０．無）	
			上記保育所は研修医の子どもに使用可能か　（１．）可　０．不可）	
	保育補助（再掲）		ベビーシッター・一時保育等利用時の補助　（１．）有　０．無）	
			その他の補助（具体的に：　）	
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所（再掲）		休憩場所　（１．）有　０．無） 授乳スペース　（１．）有　０．無）	
	その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）（再掲）		（提携医：市立東大阪医療センター（小児科・整形外科・救急）　）	
	研修医のライフイベントの相談窓口（再掲）		（１．）有　０．無 窓口の名称がある場合記入（　） 窓口の専任担当　１．有（　名）　０．無	
	各種ハラスメントの相談窓口（再掲）		窓口の名称を記入（コンプライアンス推進担当監） 窓口の専任担当（１．）有（　3 名）　０．無	
３８．研修医手帳（基幹型記入）			（１．）有　０．無	
３９．連携状況（基幹型記入）			＊　様式６に記入	

※欄は、記入しないこと。

（記入要領）

１　研修プログラムを変更する場合には「１．研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「２．研修プログラムの新設」に〇をつけること。

２　報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「１．基幹型臨床研修病院　２.協力型臨床研修病院」の番号に〇をつけること。

３　特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の４月１日現在で作成すること。

４　既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。

５　各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているので、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。

６　（基幹型・協力型記入）と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院のすべての臨床研修病院が記入対象となること。

７　（１．有　０．無）のように選択形式の項目は、いずれかに〇をつけること。

８　項目番号１から２７までについては、年次報告において記入すること。

９　研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号２８から３９までについても記入すること。

10　※欄は、記入しないこと。

11　「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とすること。

12　「病院群の構成等」欄は、病院群を構成するすべての臨床研修病院、大学病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表に記入すること。

13　「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。

14　「医師（研修医を含む。）の員数」欄について

（１）「医療法第２１条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」（平成１０年６月２６日付け健政発第７７７号・医薬発第５７４号）に基づき、当該病院に勤務する医師（研修医を含む。）について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。

（２）「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間のすべてを勤務する者をいうものであること。

（３）「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。

※　換算式

$$\frac{\text{非常勤医師の１週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の１週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数（小数第二位を四捨五入）}$$

（４）「計（常勤換算）」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。

（５）「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第１９条第１項第１号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること（患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の１日平均とすること。）。

※　算出式

$$\left[\frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数（歯科の入院患者数を除く。）}}{3} + \text{精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数（歯科の入院患者数を除く。）}\right.$$

$$\left. + \frac{\text{外来患者数（精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。）}}{2.5} + \frac{\text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数}}{5} - 52\right] \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第４３条の２に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。

（６）当該病院の研修プログラムで研修を行っているすべての研修医の氏名等について、様式３に記入すること（歯科医師は記入しない。）。

15　「救急医療の提供の実績」欄について

（１）「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」（昭和３９年厚生省令第１８６号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日（西暦）及び告示番号を記入するものであること。

（２）「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に〇をつけるものであること。

（３）「救急専用診療（処置）室の有無」欄は、救急専用診療（処置）室を有する場合には、「１．有」に〇をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「０．無」に〇をつけること。

（４）「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数（来院方法を問わず、すべての件数）、「１日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数（３６５又は３６６）で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。

（５）「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。

（６）「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙４に記入すること。

（７）「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に〇をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。

16　「医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）」欄は、当該病院の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。

17　「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日午後１２時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※　算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2\text{（新入院患者数＋退院患者数）}} = \text{平均在院日数（小数第二位を四捨五入）}$$

18　「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。

19　「臨床病理検討会（ＣＰＣ）の実施状況」欄について

（１）「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したＣＰＣの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入する

こと。

（２）「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。

（３）「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「１．有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「０．無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「（　　）大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「（　　）病院」に当該病院名を記入すること。

20　「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について

（１）「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「１．有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「０．無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容（全額支給、一律○○円、最低○○円から最高○○円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「０円」と記入すること。）。

（２）「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「１．有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「０．無」に○をつけること。

21　「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について

（１）「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline 等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「１．有」に○をつけ、利用できない場合には「０．無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他（　　）」にその内容を記入すること。

（２）「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他（　　）」にその内容を記入すること。

22　「病歴管理体制」欄について

（１）「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「１．中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「２．各科管理」に○をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。

（２）「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「１．文書」、電子媒体により保存している場合には「２．電子媒体」に○をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。

23　「医療安全管理体制」欄について

（１）「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「１．有」に○をつけるとともに、その人数を記入すること。また、安全管理者を配置していない場合には「０．無」に○をつけること。

（２）「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。

（３）「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「１．有」に○をつけ、有さない場合には「０．無」に○をつけること。

24　「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（÷１０）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数＋報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数）からの算出（÷１００）の双方とも記入すること。

25　「当該病院からの医師派遣実績」欄は、「加算する数値については、研修医の募集を行う年度の前年度末の時点で医師派遣等が行われている常勤の医師数が２０人以上の場合を１とし、５人増える毎に１を加え、８０人以上の場合を１３」とする。

26　「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。

27　「前年度に育児休業を取得した研修医の数」は、当該年度に育児休業を取得した研修医がいる場合は、男女、年次別にその人数を記入すること。

28　「研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項」欄については、

（１）「院内保育所」欄は、病院内に保育所等の保育施設を有している場合は「１．有」に○をし、保育所の基本的な開所時間を記入すること。ない場合には「０．無」に○をすること。「病児保育」・「夜間保育」欄は、院内保育所で病児保育・夜間保育を行っている場合は、それぞれにつき「１．有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「０．無」に○をすること。「上記保育所は研修医の子どもに使用可能か」欄は、上記で回答した保育所に研修医が子どもを預けることが可能な場合は「１．可」に○をし、預けることができない場合は「０．不可」に○をすること。

（２）「保育補助」欄は、ベビーシッターや一時保育等利用時の補助を病院が行っている場合は「１．有」に○をし、ない場合は「０．無」に○をすること。その他に何らかの保育補助を行っている場合は、その他欄にその内容を具体的に記入すること。

（３）「体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所」欄は、病院内に研修医が使用できる休憩場所や授乳スペースを有している場合は、それぞれにつき「１．有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「０．無」に○をすること。

（４）「その他育児関連施設・取組」欄は、上記（10）～（12）に該当しない、育児関連施設を有している場合や育児関連の取組を行っている場合（院外施設・制度との連携した取組も含む）は、回答欄内にその内容を具体的に記入すること。

（５）「研修医のライフイベント相談窓口」欄は、病院内に研修医がライフイベントについて相談できる窓口を設置している場合は「１．有」に○をし、ない場合は「０．無」に○をすること。「１．有」を選択した病院は、その窓口の名称がある場合は記載し、窓口の専任担当がいる場合は「１．有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「０．無」に○をすること。

（６）「各種ハラスメント相談窓口」欄は、病院内に研修医が各種ハラスメントについて相談できる窓口の名称について記載し、窓口の専任担当がいる場合は「１．有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「０．無」に○をすること。

29　「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。

30　「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「１．有」を選択した場合は、EPOC かその他を選択すること。

31　「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている１年次及び２年次の合計が受入可能定員を超えないこと。

32　「研修医の募集及び採用の方法」欄について

（１）「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「１．公募」に○をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。

（２）「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類すべてに〇をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。

（３）「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するものすべてに〇をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。

（４）「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。

（５）「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「１．有」に〇をし、マッチングを利用しない場合には「０．無」に〇をすること。

32　「研修医の処遇」欄について

（１）「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、２に〇をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、１に〇をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと。）、また、病院独自の処遇とする場合には、２に〇をつけること。

（２）「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、１年次及び２年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「１．有」に、支給しない場合には「０．無」に〇をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。

（３）「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「１．有」に、ない場合には「０．無」に〇をつけること。

（４）「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、１年次及び２年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに〇をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。

（５）「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。

（６）「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（　　）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（　　）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに〇をつけること。

（７）「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。

（８）「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに〇をつけること。

（９）「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに〇をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに〇をつけること。

7. 病院群の構成等

別表

基幹型又は地域密着型病院の名称（所在都道府県）：市立東大阪医療センター（大阪府）

基幹型又は地域密着型病院				協力型病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
大阪府	中河内	市立東大阪医療センター （病院施設番号:031128）		大阪府	中河内		社会福祉法人天心会小阪病院 （病院施設番号:030547）		大阪府	中河内		医療法人寿山会喜馬病院 （病院施設番号:097178）			
				大阪府	中河内		大阪府立中河内救命救急センター （病院施設番号:031756）		北海道	十勝		社会医療法人　北斗　十勝リハビリテーションセンター（病院施設番号:147594）			
				大阪府	豊能		独立行政法人国立病院機構大阪刀根山医療センター （病院施設番号:031743）		島根県	隠岐		隠岐広域連合立隠岐病院 （病院施設番号:034138）			
				大阪府	南河内		地方独立行政法人・大阪府立病院機構 大阪はびきの医療センター （病院施設番号:030967）		大阪府	中河内	追加	えとうクリニック （病院施設番号:　　）			
							（病院施設番号:　　）		大阪府	中河内	追加	松本医院 （病院施設番号:　　）			
							（病院施設番号:　　）					（病院施設番号:　　）			
							（病院施設番号:　　）					（病院施設番号:　　）			
							（病院施設番号:　　）					（病院施設番号:　　）			
							（病院施設番号:　　）					（病院施設番号:　　）			
							（病院施設番号:　　）					（病院施設番号:　　）			

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

同一の二次医療圏では研修することができないへき地医療を含めた地域医療が研修できるため

※　該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。

※　病院群を構成するすべての基幹型病院、地域密着型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。

※　当該病院群に係るすべての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む）を「研修プログラム」欄に記入すること。

６．研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和３年度開催回数３回）

病院施設番号：　031128　　臨床研修病院の名称：　市立東大阪医療センター

氏名	所属	役職	備考
フリガナ　ﾅｶ　ﾀｶｼ 姓　中　名　隆	市立東大阪医療センター	医監・副院長	臨床研修プログラム責任者 研修管理委員長
フリガナ　ﾂｼﾞｲ　ﾏｻﾋｺ 姓　辻井　名　正彦	市立東大阪医療センター	院長	研修管理委員
フリガナ　ﾔﾏﾀﾞ　ﾃﾙﾏｻ 姓　山田　名　晃正	市立東大阪医療センター	副院長	研修管理委員
フリガナ　ﾀｶﾉ　ﾕｽﾞﾙ 姓　鷹野　名　譲	市立東大阪医療センター	医務局長	研修管理委員
フリガナ　ｺﾊﾞﾔｼ　ｲﾁｿﾞｳ 姓　小林　名　一三	市立東大阪医療センター	消化器内科部長	研修管理委員
フリガナ　ｷｳﾁ　ｸﾆｱｷ 姓　木内　名　邦明	市立東大阪医療センター	精神科部長	研修管理委員
フリガナ　ﾌﾙｲﾁ　ﾔｽｺ 姓　古市　名　康子	市立東大阪医療センター	小児科部長	研修管理委員
フリガナ　ﾌﾙｶﾜ　ﾅｵﾄ 姓　古川　名　直人	市立東大阪医療センター	産婦人科部長	研修管理委員
フリガナ　ｻｲﾄｳ　ﾏｻﾋｺ 姓　斉藤　名　昌彦	市立東大阪医療センター	リハビリテーション科部長	研修管理委員
フリガナ　ﾀｶﾊﾏ　ｼﾞｭﾝｺ 姓　髙濱　名　潤子	市立東大阪医療センター	放射線科部長	研修管理委員

※　１ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.　)」欄にページ数を記入すること。

６．研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和３年度開催回数３回）

病院施設番号：　031128　　臨床研修病院の名称：　市立東大阪医療センター

氏名	所属	役職	備考
フリガナ　ﾔﾏｷ　　ﾘｮｳｲﾁ 姓　山木　名　良一	市立東大阪医療センター	麻酔科部長	研修管理委員
フリガナ　ｱﾍﾞ　　ﾄﾓｺ 姓　阿部　名　智子	市立東大阪医療センター	看護局長	研修管理委員
フリガナ　ｸﾗﾊｼ　　ﾀﾂﾋﾄ 姓　倉橋　名　達人	市立東大阪医療センター	医療技術局長	研修管理委員
フリガナ　ﾀｶｶﾞｷ　　ﾖｼﾌﾐ 姓　高垣　名　佳史	市立東大阪医療センター	薬剤部長	研修管理委員
フリガナ　ﾀｹﾓﾄ　　ﾋﾛｵ 姓　竹本　名　大雄	市立東大阪医療センター	事務局長	研修管理委員
フリガナ　ﾂｼﾞｻｶ　　ﾀｸﾐ 姓　辻坂　名　拓実	市立東大阪医療センター		臨床研修医
フリガナ　ｻｶｲ　　ﾕｳｾｲ 姓　酒井　名　雄世	市立東大阪医療センター		臨床研修医
フリガナ　ｲｼｸﾗ　　ﾌﾐﾉﾌﾞ 姓　石蔵　名　文信	イシクラメディカル	代表	外部委員
フリガナ　ﾔﾏｸﾞﾁ　　ﾀｶﾖｼ 姓　山口　名　隆義	東大阪市役所　消防局	総務部長	外部委員
フリガナ　ｻｲﾄｳ　　ﾏｷｺ 姓　斎藤　名　真貴子	社会福祉法人天心会　小阪病院	副院長、診療部長	研修実施責任者

※　１ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.　)」欄にページ数を記入すること。

６．研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和３年度開催回数３回）

病院施設番号：　031128　　臨床研修病院の名称：　市立東大阪医療センター

氏名	所属	役職	備考
フリガナ　ｷﾊﾞ　ﾐﾁﾋﾛ 姓　喜馬　名　通博	医療法人寿山会　喜馬病院	理事長	研修実施責任者
フリガナ　ｵｶﾞﾀ　ｱﾂｼ 姓　緒方　名　篤	大阪はびきの医療センター	副院長	研修実施責任者
フリガナ　ﾓﾘ　ﾏｻﾋﾃﾞ 姓　森　名　雅秀	大阪刀根山医療センター	呼吸器腫瘍内科部長	研修実施責任者
フリガナ　ｺﾝﾄﾞｳ　ｷﾐﾄ 姓　金藤　名　公人	社会医療法人北斗　十勝リハビリテーションセンター	副院長	研修実施責任者
フリガナ　ｽｹﾅｶﾞ　ﾁｶﾋｺ 姓　助永　名　親彦	隠岐広域連合立隠岐病院	副診療部長	研修実施責任者
フリガナ　ｷｼﾓﾄ　ﾏｻﾌﾐ 姓　岸本　名　正文	大阪府立中河内救命救急センター	所長代行	研修実施責任者
フリガナ　ｴﾄｳ　ﾏｻｷ 姓　衛藤　名　昌樹	えとうクリニック	院長	研修実施責任者
フリガナ　ﾏﾂﾓﾄ　ﾋﾄｼ 姓　松本　名　仁	松本医院	院長	研修実施責任者
フリガナ　ｿｶﾞ　ｱｽｶ 姓　曽賀　名　明日海	市立東大阪医療センター	総務課庶務係	研修管理委員

※　１ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.　)」欄にページ数を記入すること。

別紙 ２

１２．診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：　市立東大阪医療センター

病院施設番号：031128

区　　分	内科	救急部門	外科	麻酔科（部門）	小児科	産婦人科	又は		精神科	その他の研修を行う診療科						計合
							科産	科婦人		泌尿器科	放射線科	皮膚科	科耳鼻咽喉	科脳神経外	内科緩和ケア	
年間入院患者実数 （）内は救急件数又は分娩件数	4,360	(11368)	1,489	0	1,948	1,439 （625 ）			0	1,153	0	224	544	396	288	13,133
年間新外来患者数	17140		845	0	4639	1353			142	829	1560	895	1393	416	261	31,415
１日平均外来患者数 （ ）内は年間外来診療日数	70.8 (242)		81.8 (242)	0 (242)	67.3 (242)	84.8 (242)			12 (242)	71.3 (242)	27.9 (242)	40.4 (242)	36.5 (242)	20.2 (242)	7.9 (242)	
平均在院日数	12.9		7.25		3.8	6.2				9.5		10.5	7.9	17.4	17.2	
常勤医師数 （うち臨床研修指導医（指導医）数）	３５ （１０）	２ （２）	１３ （６）	６ （２）	７ （３）	８ （４）			１ （１）	６ （１）	８ （２）	２ （１）	３ （１）	５ （３）	３ （２）	110 (40)

※　「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「１日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、１１．の救急医療の実績の前年度の件数及び１５．の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※　「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

※　基幹型指定申請においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。（様式任意）

別紙 2

１２．診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：　市立東大阪医療センター

病院施設番号：031128

区　　分	その他の研修を行う診療科															合計
	眼科	整形外科														
年間入院患者実数 （）内は救急件数又は分娩件数	623	669														
年間新外来患者数	783	1159														
１日平均外来患者数 （ ）内は年間外来診療日数	46.5 (242)	61.1 (242)														
平均在院日数	4.2	13.3														
常勤医師数 （うち臨床研修指導医（指導医）数）	4 （1）	7 （1）														

※　「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「１日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、１１．の救急医療の実績の前年度の件数及び１５．の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※　「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

※　基幹型指定申請においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。（様式任意）

１２．診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和４年度分）

臨床研修病院の名称：市立東大阪医療センター

病院施設番号：031128

基幹型病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
市立東大阪医療センター	内科	5	5	3	6	4	3	1	5	2	4	6	5	
	救急部門	0	0	4	0	2	3	5	1	3	2	0	1	
	外科	2	2		1	1	1	1	1	2	1	1	1	
	小児科	1	1		1		1	1	1					
	産婦人科	1	1	1			1				1	1		
	精神科		1	1	1	1	1	1						
大阪大学医学部附属病院	内科	1	1		2	1	2	2	1	2	1	1		
	救急部門			2		1			1		1		1	
	外科	1	1									1	1	
奈良県立医科大学附属病院	内科	3	3	2	2	2	2	3		1	2	4	4	
	救急部門			2	1		1	1	3	2	2			
	外科	1	1		1	1	1	1	1	1				
	小児科		1	1		1								
	産婦人科													
	精神科													
兵庫医科大学病院	内科	1	1				1	1		1	1		1	
	救急部門			1					1			1		
	外科				1	1								
河内総合病院	産婦人科				1	1								

１２．診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和５年度分）

臨床研修病院の名称：市立東大阪医療センター

病院施設番号：031128

基幹型病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
市立東大阪医療センター	内科	5	4	4	6	4	3	1	5	2	4	6	5	
	救急部門		1	3		2	3	5	1	3	2		1	
	外科	2	2		1	1	1	1	1	2	1	1	1	
	小児科	1	1		1		1	1	1					
	産婦人科	1	1	1			1				1	1		
	精神科		1	1	1	1	1	1						
大阪大学医学部附属病院	内科	1	1		2	1	2	2	1	2	1	1		
	救急部門			2		1			1		1		1	
	外科	1	1									1	1	
奈良県立医科大学附属病院	内科	3	3	2	2	2	2	3		1	2	4	4	
	救急部門			2	1		1	1	3	2	2			
	外科	1	1		1	1	1	1	1	1				
	小児科		1	1		1								
	産婦人科													
	精神科													
兵庫医科大学病院	内科	1	1				1	1		1	1		1	
	救急部門			1					1			1		
	外科				1	1								
名古屋市立大学病院	内科	1	1				1	1		1	1		1	
	救急部門			1					1			1		
	外科				1	1								
河内総合病院	産婦人科				1	1								
新潟大学医歯学総合病院	内科	1	1				1	1		1	1			
	救急部門			1					1			1		
	外科				1	1								
信楽園病院	内科	1	1				1	1						
	救急部門			1					1			1		
	外科				1	1								
	小児科									1				
	産婦人科										1			

１２．診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和６年度分）

臨床研修病院の名称：市立東大阪医療センター

病院施設番号：031128

基幹型病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
市立東大阪医療センター	内科	5	4	4	6	4	3	1	5	2	4	6	5	
	救急部門		1	3		2	3	5	1	3	2		1	
	外科	2	2		1	1	1	1	1	2	1	1	1	
	小児科	1	1		1		1	1	1					
	産婦人科	1	1	1			1				1	1		
	精神科		1	1	1	1	1	1						
大阪大学医学部附属病院	内科	1	1		2	1	2	2	1	2	1	1		
	救急部門			2		1			1		1		1	
	外科	1	1									1	1	
奈良県立医科大学附属病院	内科	3	3	2	2	2	2	3		1	2	4	4	
	救急部門			2	1		1	1	3	2	2			
	外科	1	1		1	1	1	1	1	1				
	小児科		1	1		1								
	産婦人科													
	精神科													
兵庫医科大学病院	内科	1	1				1	1		1	1		1	
	救急部門			1					1			1		
	外科				1	1								
名古屋市立大学病院	内科	1	1				1	1		1	1		1	
	救急部門			1					1			1		
	外科				1	1								
河内総合病院	産婦人科				1	1								
新潟大学医歯学総合病院	内科	1	1				1	1		1	1			
	救急部門			1					1			1		
	外科				1	1								
信楽園病院	内科	1	1				1	1						
	救急部門			1					1			1		
	外科				1	1								
	小児科									1				
	産婦人科										1			

２９．研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号：031128402

病院施設番号：　031128　　臨床研修病院の名称：市立東大阪医療センター

臨床研修病院群番号：0311284　　臨床研修病院群名：市立東大阪医療センター病院群

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

１．研修プログラムの名称	市立東大阪医療センター臨床研修プログラム
２．研修プログラムの特色	症例数が豊富で 35 診療科を擁した地域基幹病院である本院での研修は、プライマリケア診療、また内科・小児科救急における一次、二次救急医療の研修及び隣接する大阪府立中河内救命センターでの三次救急医療の研修が可能である。また、幾多の学会認定施設に指定され、指導医も多く、卒後臨床研修に適したプログラムである。
３．臨床研修の目標の概要	プライマリケア中心の日常一般診療を通じて、医師として必要な幅広い診療能力を習得するとともに、研修を通じて社会人そして医師としての人格を涵養する。また選択研修科を自由に選択、将来の専門性への進路を容易にする。
４．研修期間	（　　２　）年　（原則として、「２年」と記入してください。）
備考	研修後そのまま専門研修に入り 3 年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。 研修後そのまま専門研修に入り、3 年以上研修可能

５．臨床研修を行う分野

研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間）

＊　同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。

＊　研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。

＊　選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。

		病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
（記入例）　ｘｘ科		1234567	○○　病院	○週	○週
必修科目・分野	内科	031128	市立東大阪医療センター	24 週	5 週
	救急部門	031128	市立東大阪医療センター（麻酔科） 市立東大阪医療センター中河内救命救急センター	12 週	
	地域医療	097178 147594 034138	喜馬病院 十勝ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ 隠岐病院 えとうクリニック 松本医院	4 週	一般外来　2 週 在宅診療　2 週
	外科	031128	市立東大阪医療センター	8 週	2 週
	小児科	031128	市立東大阪医療センター	4 週	1 週
	産婦人科	031128	市立東大阪医療センター	4 週	
	精神科	031128 030547	市立東大阪医療センター 小阪病院	4 週	
病院で定めた必修科目	麻酔科	031128	市立東大阪医療センター	8 週	週
					週
					週

	選択科目	腎臓内科	031128	市立東大阪医療センター		
		内分泌代謝内科	031128	市立東大阪医療センター		
		免疫内科	031128	市立東大阪医療センター		
		総合診療科	031128	市立東大阪医療センター		
		血液内科	031128	市立東大阪医療センター		
		循環器内科	031128	市立東大阪医療センター		
		消化器内科	031128	市立東大阪医療センター		
		脳神経内科	031128	市立東大阪医療センター		
		精神科	031128	市立東大阪医療センター		
		皮膚科	031128	市立東大阪医療センター		
		小児科	031128	市立東大阪医療センター		
		消化器外科	031128	市立東大阪医療センター		
		小児外科	031128	市立東大阪医療センター		
		呼吸器外科	031128	市立東大阪医療センター		
		乳腺外科	031128	市立東大阪医療センター		
		臨床腫瘍科	031128	市立東大阪医療センター		
		心臓血管外科	031128	市立東大阪医療センター		34 週
		形成外科	031128	市立東大阪医療センター		
		整形外科	031128	市立東大阪医療センター		
		リハビリテーション科	031128	市立東大阪医療センター		
		脳神経外科	031128	市立東大阪医療センター		
		泌尿器科	031128	市立東大阪医療センター		
		産婦人科	031128	市立東大阪医療センター		
		眼科	031128	市立東大阪医療センター		
		放射線科	031128	市立東大阪医療センター		
		耳鼻咽喉科	031128	市立東大阪医療センター		
		麻酔科	031128	市立東大阪医療センター		
		緩和ケア内科	031128	市立東大阪医療センター		
		病理診断科	031128	市立東大阪医療センター		
		呼吸器内科	030967 030542	大阪はびきの医療センター 大阪刀根山医療センター		
		救急部門	031756	中河内救命救急センター		
		精神科	030547	小阪病院		

	備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 84 週 ※原則として、52 週以上行うことが望ましい。 臨床研修協力施設での研修期間・・・最大 12 週 ※原則として、12 週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。 研修プログラムに規定された４週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修としてみなす休日・夜間の当直回数・・・約 96 回 救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・4 週※但し、４週を上限とする 一般外来の研修を行う診療科・・・内科系すべての診療科において内科一般外来にて行う 地域医療については 1～2 施設を 4 週以内で選択する 選択科目の呼吸器内科は 1 施設を選択できる ※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。	病院施設番号： 031128	臨床研修病院の名称:市立東大阪医療センター
	臨床研修病院群番号：0311284	臨床研修病院群名:市立東大阪医療センター病院群

６．研修スケジュール（一年次・二年次：いずれかに○）

プログラム番号 031128402

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。＊１

(No. 1)

病院又は施設の名称（病院施設番号）	研修分野＊２	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
凡例　○×病院（○×○×○×）	内科	5												
凡例　▲■病院（▲■▲■▲■）	外科	3												
凡例　△□病院（△□△□△□）	外科			3										
市立東大阪医療ｾﾝﾀｰ	内科	5	5	3	6	4	3	1	5	2	4	6	5	
市立東大阪医療ｾﾝﾀｰ	外科	2	2		1	1	1	1	1	2	1	1	1	
市立東大阪医療ｾﾝﾀｰ	救急			3		1	1	5		2	1		1	
中河内救命救急ｾﾝﾀｰ	救急			1		1	2		1	1	1			

＊１：臨床研修病院群における臨床研修で、１つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを１枚にまとめたものを添付すること。

＊２：「研修分野」欄には、「５．臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

＊３：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

病院施設番号： 031128	臨床研修病院の名称:市立東大阪医療センター
臨床研修病院群番号： 0311284	臨床研修病院群名:市立東大阪医療センター病院群

６．研修スケジュール（一年次・二年次：いずれかに○）

プログラム番号　031128401

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。＊１

(No. 1)

病院又は施設の名称（病院施設番号）	研修分野＊２	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
市立東大阪医療ｾﾝﾀｰ	小児科	1	1		1		1	1		1				
市立東大阪医療ｾﾝﾀｰ	産婦人科	1	1	1			1					1	1	
市立東大阪医療ｾﾝﾀｰ	精神科			1 1		1	1	1	1					
市立東大阪医療ｾﾝﾀｰ	麻酔科		1		1 1	1	1	1		2	1		1	1
小阪病院	精神科			1 1		1	1	1	1					
喜馬病院	地域医療				1	1		1						
十勝ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ	地域医療					1	1 1							
隠岐病院	地域医療							1						
えとうクリニック	地域医療			1	1	1	1	1	1	1				
松本医院	地域医療			1	1	1	1	1	1	1				

＊１：臨床研修病院群における臨床研修で、１つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを１枚にまとめたものを添付すること。

＊２：「研修分野」欄には、「５．臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

＊３：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

３１．臨床研修指導医（指導医）等の氏名等　　病院施設番号：031128　　臨床研修病院の名称:市立東大阪医療センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 １　プログラム責任者 ２　副プログラム責任者 ３　研修実施責任者 ４　臨床研修指導医（指導医）
内科	中　隆	市立東大阪医療センター	医監・副院長	38年	○	平成20年度東大阪市立総合病院臨床研修指導医養成講習会　日本内科学会認定医・指導医　日本神経学会専門医・指導医　日本頭痛学会専門医・指導医　大阪大学医学部臨床教授　日本神経学会代議員	031128402	1,4
内科	原田　環	市立東大阪医療センター	血液浄化部長	20年	○	平成23年度大阪大学医学部附属病院主催臨床研修指導医養成講習会　日本内科学会 総合内科専門医　日本内科学会 認定医　日本腎臓学会 専門医・指導医　日本透析医学会 専門医・指導医	031128402	4
内科	川口　義彦	市立東大阪医療センター	部長	37年	○	平成20年度東大阪市立総合病院主催臨床研修指導者のためのワークショップ　日本内科学会 認定医・指導医 日本糖尿病学会 認定専門医・指導医　日本老年医学会 認定専門医　高齢者栄養療法 認定医　日本静脈経腸栄養学会 TNT研修会修了　大阪大学 臨床教授	031128402	4
内科	松梨　達郎	市立東大阪医療センター	部長	35年	○	平成21年全国自治体病院協議会 日本内科学会 総合内科専門医・指導医 日本血液学会 血液専門医・指導医 日本結核病学会 結核・抗酸菌症認定医 日本結核病学会 ＩＣＤ 日本医師会 認定産業医	031128402	4
内科	市川　稔	市立東大阪医療センター	部長	26年	○	平成22年度東大阪市立総合病院指導医講習会日本内科学会 認定医・指導医　日本循環器学会 循環器専門医　日本心血管インターベンション治療学会 心血管カテーテル治療専門医・施設指導医浅大腿動脈ステントグラフト実施医　日本心臓血管内視鏡学会 専門医・理事	031128402	4
内科	高木　崇	市立東大阪医療センター	副部長	27年	○	令和3年度兵庫医科大学病院指導医講習会　日本内科学会認定　総合内科専門医　日本高血圧学会認定　高血圧専門医　日本内科学会　認定内科医・指導医　日本循環器学会認定　循環器専門医 日本老年医学会認定　老年科専門医	031128402	4
内科	辻井　正彦	市立東大阪医療センター	院長	38年	○	平成18年度大阪大学臨床研修指導医養成講習会	031128402	4

３１．臨床研修指導医（指導医）等の氏名等　　病院施設番号：031128　　臨床研修病院の名称:市立東大阪医療センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 １　プログラム責任者 ２　副プログラム責任者 ３　研修実施責任者 ４　臨床研修指導医（指導医）
内科	小林　一三	市立東大阪医療センター	部長	35年	○	平成20年度東大阪市立総合病院主催臨床研修指導者のためのワークショップ　日本内科学会 認定医・指導医　日本消化器病学会 専門医・指導医　日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医　日本肝臓学会 専門医・指導医　日本医師会 認定産業医　日本消化器病学会 評議員・近畿支部評議員　日本消化器内視鏡学会 近畿支部評議員	031128402	4
内科	赤松　晴樹	市立東大阪医療センター	副部長	28年	○	平成28年度奈良医大臨床研修指導医養成講習会　日本内科学会 認定医・指導医　日本消化器病学会 専門医・指導医　日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医　日本肝臓学会 専門医　日本医師会 認定産業医　日本ヘリコバクター学会 H.pylori(ピロリ菌)感染症認定医	031128402	4
内科	隅　寿恵	市立東大阪医療センター	部長	29年	○	平成23年度大阪大学医学部附属病院主催臨床研修指導医養成講習会　日本神経学会 神経内科専門医・指導医　日本内科学会 総合内科専門医・認定内科医・指導医	031128402	4
救急	鷹野　譲	市立東大阪医療センター	医務局長	33年	○	平成21年度社団法人全国保険協会連合会主催臨床研修指導医養成講習会　日本心臓病学会 特別正会員(FJCC)日本内科学会 総合内科専門医　日本循環器学会 循環器専門医　日本超音波医学会 超音波専門医・指導医　日本心血管インターベーション治療学会 名誉専門医	031128402	4
救急	中條　悟	市立東大阪医療センター	部長	23年	○	平成21年度全国自治体病院協議会指導医講習会　日本外科学会認定　外科認定医・専門医　日本救急医学会認定　救急科専門医	031128402	4
麻酔科	山木　良一	市立東大阪医療センター	部長	29年	○	平成17年香川大学医学部附属病院卒後臨床研修指導医養成講習会　麻酔科標榜医　日本麻酔科学会 麻酔科指導医	031128402	4
麻酔科	田山　準子	市立東大阪医療センター	副部長	29年	○	大阪府医師会主催「指導医のための教育ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ」　麻酔科標榜医　日本麻酔科学会 麻酔科専門医	031128402	4

３１．臨床研修指導医（指導医）等の氏名等　　病院施設番号：031128　　臨床研修病院の名称:市立東大阪医療センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 １　プログラム責任者 ２　副プログラム責任者 ３　研修実施責任者 ４　臨床研修指導医（指導医）
外科	山田　晃正	市立東大阪医療センター	副院長	32年	○	平成25年大阪府医師会主催「指導医のための教育ワークショップ」　日本外科学会 認定医・専門医・指導医　日本消化器外科学会 認定医・専門医・指導医　日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医　日本肝胆膵外科学会 肝胆膵外科高度技能指導医	031128402	4
外科	中田　健	市立東大阪医療センター	部長	26年	○	平成16年度大阪大学医学部附属病院指導医講習会　日本外科学会認定　外科認定医・専門医　日本消化器外科学会認定　消化器外科専門医・指導医　日本消化器外科学会認定　消化器がん外科治療認定医　日本がん治療認定医機構認定　がん治療認定医	031128402	4
外科	松山　仁	市立東大阪医療センター	副部長	25年	○	平成27年全国自治体病院協議会主催指導医養成講習会　日本外科学会 専門医・指導医　日本消化器外科学会 専門医・指導医　日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医　日本消化器病学会 専門医・指導医　日本食道学会 食道科認定医	031128402	4
外科	津田　雄二郎	市立東大阪医療センター	主任医長	15年	○	平成30年度全国自治体病院協議会主催指導医養成講習会　日本外科学会 専門医　日本消化器外科学会　専門医　日本消化器外科学会　消化器がん外科治療認定医　日本がん治療認定機構 がん治療認定医	031128402	4
外科	富永　修盛	市立東大阪医療センター	部長	39年	○	平成15年度全国自治体病院協議会指導医講習会　日本外科学会認定医・専門医　日本乳癌学会認定医・乳腺専門医　日本大腸肛門病学会専門医・指導医　日本がん治療認定医機構がん治療暫定教育医　精中委検診マンモグラフィ読影認定医　近畿外科学会評議員	031128402	4
外科	古妻　康之	市立東大阪医療センター	副部長	22年	○	平成24年度大阪大学医学部附属病院指導医講習会　日本外科学会専門医　日本乳癌学会乳腺専門医　精中委マンモグラフィ読影認定医（A評価）　日本乳癌検診学会評議員	031128402	4
小児科	古市　康子	市立東大阪医療センター	部長	26年	○	平成20年度東大阪市立総合病院指導医講習会　日本小児科学会 認定専門医・指導医　N－CPRインストラクター	031128402	4

３１．臨床研修指導医（指導医）等の氏名等　　病院施設番号：031128　　臨床研修病院の名称:市立東大阪医療センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 １　プログラム責任者 ２　副プログラム責任者 ３　研修実施責任者 ４　臨床研修指導医（指導医）
心臓血管外科	山内　孝	市立東大阪医療センター	部長	25年	○	平成20年度臨床研修指導医養成講習会　心臓血管外科専門医認定機構認定 心臓血管外科専門医 心臓血管外科専門医認定機構認定　心臓血管外科修練指導者　日本ステントグラフト実施基準管理委員会認定　胸部大動脈ステントグラフト指導医 日本ステントグラフト実施基準管理委員会認定 腹部大動脈ステントグラフト指導医　日本外科学会認定　外科専門医	031128402	4
小児科	土井　政明	市立東大阪医療センター	副部長	19年	○	平成25年度奈良県立医科大学附属病院臨床研修指導医養成講習会　日本小児科学会 認定専門医・指導医　日本アレルギー学会 認定専門医 日本血液学会 認定専門医・指導医　認定産業医	031128402	4
小児科	能村　賀子	市立東大阪医療センター	主任医長	17年	○	平成29年全国自治体病院協議会指導医講習会　日本小児科学会認定　小児科専門医・指導医	031128402	4
産婦人科	奥　正孝	市立東大阪医療センター	副院長	39年	○	平成20年度東大阪市立総合病院臨床研修指導医養成講習会　日本産科婦人科学会専門医・指導医 新生児蘇生法「専門」コースインストラクター 奈良県立医科大学非常勤講師　大阪産婦人科医会評議員　日本平滑筋学会評議員	031128402	4
産婦人科	古川　直人	市立東大阪医療センター	部長	28年	○	平成27年度奈良県立医科大学附属病院 日本産科婦人科学会 専門医・指導医 日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍 専門医・指導医 日本臨床細胞学会 細胞診専門医　女性医学学会専門医　産婦人科内視鏡学会 腹腔鏡技術認定医 日本内視鏡外科学会 技術認定医	031128402	4
産婦人科	宇山　圭子	市立東大阪医療センター	副部長	34年	○	平成22年度東大阪市立総合病院指導医講習会　日本産科婦人科学会専門医・指導医　日本アロマセラピー学会認定医	031128402	4
産婦人科	中西　隆司	市立東大阪医療センター	副部長	25年	○	平成22年度東大阪市立総合病院指導医講習会　日本産科婦人科学会専門医・指導医	031128402	4

３１．臨床研修指導医（指導医）等の氏名等　　病院施設番号：031128　　臨床研修病院の名称:市立東大阪医療センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 １　プログラム責任者 ２　副プログラム責任者 ３　研修実施責任者 ４　臨床研修指導医（指導医）
精神科	木内　邦明	市立東大阪医療センター	部長	21年	○	平成22年度奈良県立医科大学附属病院指導医養成講習会 日本精神神経学会 専門医・指導医 日本老年精神医学会 専門医・指導医　精神保健指定医　日本医師会認定 産業医	031128402	4
リハビリテーション科	斉藤　昌彦	市立東大阪医療センター	外科系統括部長代行	30年	○	平成21年度奈良県立医科大学附属病院指導医講習会　日本整形外科学会整形外科専門医　身体障害者福祉法指定医　更生医療指定医	031128402	4
整形外科	宗本　充	市立東大阪医療センター	部長	25年	○	平成28年度奈良医大臨床研修指導医講習会　日本整形外科学会 専門医　日本整形外科学会 認定リウマチ医　日本骨粗鬆症学会 認定医　日本人工関節学会 認定医　中部日本整形外科災害外科学会　評議員	031128402	4
脳神経外科	藤本　京利	市立東大阪医療センター	部長	30年	○	第12回MMC指導医講習会/第7回名大ネットワーク指導医講習会」　日本脳神経外科学会 専門医・指導医　日本脳卒中学会 専門医　日本脳卒中の外科学会 技術指導医	031128402	4
脳神経外科	木村　新	市立東大阪医療センター	副部長	24年	○	平成30年度奈良県立医科大学臨床研修指導医養成講習会　日本脳神経外科学会 専門医・指導医 日本脳卒中学会 専門医　日本脳神経血管内治療学会 専門医	031128402	4
脳神経外科	朴　憲秀	市立東大阪医療センター	主任医長	14年	○	平成29年日本医師会「指導医のための教育ワークショップ」　日本脳神経外科学会認定　脳神経外科専門医　日本脳卒中学会認定　脳卒中専門医 日本脳神経血管内治療学会認定　脳血管内治療専門医・指導医	031128402	4
集中治療部	熊野　穂高	市立東大阪医療センター	部長	41年	○	平成18年度天理よろづ相談所病院臨床研修指導医講習会　麻酔科標榜医　日本麻酔科学会 麻酔科指導医　日本集中治療医学会 集中治療専門医 奈良県立医科大学 臨床教授　兵庫医科大学 臨床教育教授	031128402	4

３１．臨床研修指導医（指導医）等の氏名等　　病院施設番号：031128　　臨床研修病院の名称:市立東大阪医療センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 １　プログラム責任者 ２　副プログラム責任者 ３　研修実施責任者 ４　臨床研修指導医（指導医）
集中治療部	多田　祐介	市立東大阪医療センター	主任医長	12年	○	令和元年度奈良県立医科大学臨床研修指導医養成講習会　日本救急医学会認定　救急科専門医　日本集中治療医学会認定　集中治療専門医	031128402	4
集中治療部	髙井　佳菜子	市立東大阪医療センター	医長	11年	○	令和元年度関西医科大学臨床研修指導医養成講習会　日本外科学会 外科専門医　心臓血管外科専門医認定機構 心臓血管外科専門医　日本脈管学会専門医　下肢静脈瘤血管内焼灼術実施医　腹部ステントグラフト実施医　胸部ステントグラフト基礎経験　日本血管外科学会血管内治療認定医　浅大腿動脈ステントグラフト実施医　インフェク	031128402	4
皮膚科	猿喰　浩子	市立東大阪医療センター	副院長	34年	○	平成20年度東大阪市立総合病院臨床研修指導医養成講習会　日本皮膚科学会認定専門医	031128402	4
泌尿器科	小野　豊	市立東大阪医療センター	部長	29年	○	平成22年度東大阪市立総合病院指導医講習会　日本泌尿器科学会泌尿器科専門医・指導医　日本泌尿器科学会ボーティングメンバー　大阪大学医学部非常勤講師	031128402	4
形成外科	市野　直樹	市立東大阪医療センター	部長	33年	○	平成30年度大阪大学医学部附属病院主催指導医養成講習会　日本形成外科学会 専門医 日本創傷外科学会 専門医　皮膚腫瘍外科学会 専門医	031128402	4
眼科	大下　貴志	市立東大阪医療センター	部長	27年	○	平成22年度東大阪市立総合病院臨床研修指導医養成講習会　日本眼科学会認定眼科専門医 ＰＤＴ認定医	031128402	4
耳鼻咽喉科	森鼻　哲生	市立東大阪医療センター	部長	23年	○	平成27年度大阪大学医学部附属病院指導医養成講習会　日本耳鼻咽喉科学会 耳鼻咽喉科専門医 日本耳鼻咽喉科学会 耳鼻咽喉科専門研修指導医 厚生労働省主催 補聴器適合判定医師研修 修了 臨床遺伝専門医	031128402	4

３１．臨床研修指導医（指導医）等の氏名　　病院施設番号：031128　　臨床研修病院の名称:市立東大阪医療センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 １　プログラム責任者 ２　副プログラム責任者 ３　研修実施責任者 ４　臨床研修指導医（指導医）
放射線科	髙濱　潤子	市立東大阪医療センター	部長	28年	○	日本医学放射線学会 放射線診断専門医　日本医学放射線学会 研修指導医　日本核医学会 核医学専門医　日本核医学会 PET核医学認定医	031128402	4
放射線科	森本　賢吾	市立東大阪医療センター	副部長	23年	○	平成27年度奈良県立医科大学附属病院指導医講習会　日本医学放射線学会 放射線診断専門医 日本医学放射線学会 研修指導医 日本IVR学会 専門医	031128402	4
病理診断科	山内　周	市立東大阪医療センター	部長	31年	○	平成24年度大阪府医師会主催指導医養成講習会 日本病理学会病理専門医・指導医　日本臨床細胞学会細胞診専門医　日本病理学会学術評議員	031128402	4
病理診断科	千原　剛	市立東大阪医療センター	副部長	21年	○	平成29年度第9回三重大学医学部附属病院/第22回MMC合同指導医養成講習会　日本病理学会 病理専門医・指導医　日本臨床細胞学会 細胞診専門医・指導医　日本病理学会 学術評議員	031128402	4
緩和ケア内科	進藤喜予	市立東大阪医療センター	部長	32年	○	令和元年度近畿厚生局指導医講習会　日本緩和医療学会 暫定指導医　日本内科学会 認定内科医 緩和ケアの基本教育に関する指導者研修会修了	031128402	4
緩和ケア内科	岩城　隆二	市立東大阪医療センター	副部長	19年	○	平成27年度大阪大学医学部附属病院　日本緩和医療学会 緩和医療認定医　日本がん治療認定機構がん治療認定証　日本外科学会認定登録医　日本医師会認定産業医　緩和ケアの基本教育に関する指導者研修会修了	031128402	4

※　「担当分野」欄には、様式10別紙３の臨床研修を行う分野及び病理（ＣＰＣ）を記入すること。
※　「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
※　「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。
※　「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
※　プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

＊研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
＊臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、７年（８４月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者